

**当日でもOK!**  
バル街の楽しみ方

**1 チケットを買う**  
当日はバル本部(本寺小路中央パーキング特設テント)にて販売。売り切れ次第終了です。

**2 お店選び**  
マップでバル街参加店をチェック! 気になるお店に行ってみよう! 本部前の掲示板で参加店のピンチョスを紹介しています。

**3 チケットを渡す**  
お店のスタッフさんにチケットを1枚渡すだけでOK!

**4 ピンチョス**  
各店の個性豊かなピンチョス。オリジナルピンチョスを味わえるのは当日だけ!

**5 食べる**  
ピンチョスとドリンクが来たら乾杯! 他の参加者に声をかけてみるのも◎。

さんじょうバル街  
**bar sanjo bar-gai**  
2017 10.7 sat  
16:00-24:00 ※参加店舗によって異なるため、HPやマップを要確認

前売り券 3,500円  
当日券 4,000円

チケット 5枚つづり・マップ付き

**前売り券取扱い店舗**  
春秋まるい、東栄自動車、松眼鏡店、Bistro&Pablic玲於奈、キネマカンテツ座、三条商工会議所、ネット予約(お取り置き、当日本部にてお引き渡し)

**当日券購入場所**  
バル本部(本寺小路中央パーキング特設テント)にて販売。数に限りあり、売り切れ次第終了。

問合せ: 080-4056-4386(さんじょうバル街実行委員会)  
HP: sanjobar.org



なっています。バルのフランクな雰囲気は、知らない人同士でも仲よくなってしまう不思議な魅力があります。店で隣の席になった人やマップを片手にお店を探している人に、ぜひ積極的に声をかけてみてください!と野水さん。バルという共通の話題があることで、自然に盛り上がりはるはずと話します。数年前の開催時には、同じお店に居合わせた参加者同士が意気投合し、サークルのような新しいコミュニティができたこともあるそう。後にさらなる交流を深めるため、そのお店でクリスマスパーティーを行うなど、イベント後のつながりも生まれています。

さらに野水さんは、バル街がネット検索で見つけづらい個性なお店と出会う、貴重な機会とも考えています。「かつては上司が部下を誘い、行

きよ里さんのミニライブを開催。さらに、参加者に扮したアマチュアアーティストがギターを片手に各店舗をまわり、サンプライズで歌う「流し」も企画しています。そして、今回特に野水さんたちが力を入れたのが、エリア内の飲食店の雰囲気、料理、場所を掲載したバル街マップです。SNSではなかなか紹介されない名店情報が二面にぎゅぎゅと詰まっています。「バル街

さまざまな工夫で、認知度を上げていく「さんじょうバル街」。他地域のバル街は年2回開催のところ、三条は県内唯一の年1回開催のため、プレミアム感があるようにと内

容の充実が意識されています。「まだまだ一般の人への認知度は上げられるはず。参加者に喜んでもらえるよう、工夫を重ねていきますよ。バル街を通して、三条の飲食店の素晴らしさを市内外へアピールしていきたい」と野水さん。バル街には三条のまちの魅力を広める力があると信じています。

今年のテーマは「音楽」  
バル街MAPにも注目を期待して

お店選びに迷ったら本部へGO!

▲チケットとマップはセットで販売。マップのみの販売はしていません。



「さんじょうバル街」とは?  
共通チケット(前売り3,500円、当日4,000円)を購入すると、1ドリンク+1ピンチョス(おつまみ)のセットを5軒分楽しめるお得なはしご酒イベント。当日使い切れなかったチケットは、翌日以降の「あとバル」で使用OK。参加各店では700円相当のメニューorオリジナルメニューをいただけます。※各店により「あとバル」開催期間あり。不参加店舗もあり。

「会場となる本寺小路は、お店が密集しているエリアなので、飲み歩きにぴったりなんです」と語るのは、「さんじょうバル街」実行委員長の野水吉朗さん。本寺小路は、さまざまなジャンルの個性的な店が集まるエリアで立ち寄りづらいと思われがちですが、まずはこのイベントをきっかけに、気軽にその魅力に触れてほしいと話します。

「さんじょうバル街」実行委員長 野水吉朗さん  
三条市内で割烹(春秋まるい)を営みながら、まちの魅力を発信する活動に尽力しています。「さんじょうバル街」はピンチョスの質・量ともに県内トップクラス! 満腹になるまで、はしご酒を楽しんでくださいな」

巻頭特集  
「今日は本寺小路に行こーよ!」  
ほろ酔い気分のまち歩き

さんじょうバル街  
**bar sanjo bar-gai**  
2017 10.7 sat

気軽にはしご酒ができる「さんじょうバル街」が今年も開催されます。三条市の本寺小路エリアを中心とした飲食店が数多く参加するため、これまで気になっていたお店を訪れるチャンスです。イベントの魅力と楽しみ方を実行委員長の野水さんに伺いました。

動画が見える! フリモAR®  
フリモARを表紙にかざすと「さんじょうバル街」参加店からのメッセージがご覧いただけます!

動画閲覧期間は1ヵ月です。10月号は9/25(月)~10/24(火)まで。



三条市本寺小路の飲食店では、はしご酒を楽しめる人気イベント「さんじょうバル街」。参加飲食店の共通チケットを購入することで、5軒ものお店で1ドリンクと1ピンチョス(おつまみ)をオーダーできる、お得な内容です。5回目を迎える今年は、割烹、焼き鳥屋、フレンチレストラン、カフェなど、個性派ぞろいの43店舗が参加します。県内のバル街イベントは三条の他、長岡、上越、新潟、糸魚川でも開催され、各地域の代表者が情報交換をするなど、県内ネットワークも充実。バル街のロゴマークは、統一されながらも地域ごとにテーマカラーがあり、三条は活気があつて温かみのあるオレンジ色が目印です。

「さんじょうバル街」は、まちが活気であふれる特別な夜です。本寺小路周辺に多くの人たちが集まり、マップを片手にそぞろ歩きするにぎわいの光景は、ワクワクするものがあります。人々を惹きつけるその魅力は、さまざまなドリンクやピンチョスを味わえることだけではありません。参加者同士の新たな出会いもイベントの醍醐味と、

また「さんじょうバル街」は、他のバルイベントに比べるとピンチョスの圧倒的なボリューム感が特徴の一つ。「サービスピリット旺盛な、三条店主の人柄でしょうか」と野水さんは愉快そうに笑います。通常は共通チケット5枚すべてを使って、腹八分目ほどが目安とされていますが、三条の驚きのボリュームには誰もが満足すること請け合いです。

人と人がつながり、名店と出会うきっかけに

